

成蹊會誌

今村繁三先生追悼号

第十二号



中村春二園長夫人古稀記念事業 (26頁)

成蹊会近況

会誌第十一号掲載以降、昭和三十一年八月末日

(昭和三十一年三月)

○大学卒業生歓迎会(廿八日ホールスター)

三月二十七日成蹊大学第五回卒業式が挙行され、その翌日本会主催の歓迎会を開催した。約一八〇名の来会者を得て、歓を尽し閉会に当つて螢の光を齊唱し、思い出深い学生生活の最後を飾った。大学より倉石教務部長、関島学生部長の外十数名の先生方がお見えになり本会からは青葉、辻岡副会長初め多数が出席し、晴の壯途を祝った。

(四月)

○成蹊会誌第十一号發行(十八日)

○今村鑒三先生逝去(十九日午前八時)

○鈴木一郎先生謝恩会

(二十日・ニュートーキョー)

三月三十一日附をもつて成蹊学園校長の鈴木一郎先生が退職されたためその謝恩会を開催した。この会は卒業生であり且つ現在

成蹊学園の父兄になつている会員有志が中心となつて行われ、加藤会長以下二十五名が出席した。

○育英奨學選衛委員会

(二十三日・ニュートーキョー)

育英奨學生を銓衡するに当り加藤会長より左の通り銓衡委員が指名された。

青葉翰於、石坂泰彦、谷岡喜久藏、永田龍之助、三好道矢、水野かず子

四月二十八日第一回委員会を開催し、大学より、関島学生部長、高校より飛田教頭の出席を求め、慎重審議の結果左の七名を決定した。

新居嗣郎 東京大学教養学部教養学科

(成蹊高校卒業)

糸川洋夫 成蹊大学政治経済学部

鹿毛達雄 東京大学文学部西洋史料

(成蹊高校卒業)

佐藤巖雄 成蹊大学政治経済学部

平野孝彦 成蹊高等学校

山口達明 成蹊高等学校

横田光史 成蹊大学政治経済学部

(成蹊高校卒業)

○高等学校新卒業生歓迎会

(二十七日・ホールスター)

成蹊大学の新卒業生諸君には第一回生より毎年歓迎会を行つてきたが、本年より高等学校新卒業生に対しても歓迎会を開くことにした。高等学校卒業生はその過半数が成蹊大学以外の他の大学に進学するので成蹊の学窓を出れば、四散し一堂に会し集る機会がない現状であるので本会としては高校卒業生諸君の入会を歓迎する意味において今年より恒例的に催すことにした。

約一二〇名の出席者があり、高校側より鈴木前校長、飛田教頭、松田道雄の三先生が参会され、本会からは、南部委員長初め多数の会員が出席した。

(五月)

○千葉成蹊会(十九日・千葉牧野屋)

本部より谷岡常務理事、栗原理事出席し、

会務報告並びに現況について説明少々懇談した。就中栗原理事は校長としての抱負を語った。詳細は支部便り参照

(六月)

○北海道成蹊会(十三日・札幌三菱クラブ)

○東北成蹊会(十六日・仙台警友会館)

本部より谷岡常務理事出席し会務報告並びに現況について説明少々懇談した。詳細は支部便り参照

○会員名簿(昭和三十一年度版)発行

(二十一日)

(七月)

○今村繁三先生を偲ぶ座談会

(七日・学園総長室)

○夏季大懇親会(二十七日・新九ビル屋上)

恒例の懇親会を本年は新九ビル屋上で開催した。来会者一五〇名旧師も梅地慎三先生、山下助四郎先生初め御光来下され、女性群もちらほら見えて、夏の宵を楽しく過した。

○夏の学校に、会員の医師、水泳師範参加成蹊学園の夏の学校に卒業生が水泳師範として参加し、生徒・児童の指導することは永年に亘る伝統であつたが、近年に至り、卒業生の医師団も参加、保健衛生に万全の

措置を講じており、学園より深く感謝されている。本年も別掲「学園近況夏の学校の項参照」の通り各地で夏の学校を行ったが

医師は、香月秀雄(高十回)河北恵文(高十二回)日野貞雄(高十四回)の諸氏が中心となつて医師団を組織し、水泳は佐藤史郎(高八回)伊集院重(高十二回)の両氏を中心として師範団を編成し、合せて約三十名の卒業生が参加した。

(八月)

○第五回理事会(一日・同友クラブ)

出席 理事 十一名

監事 三名

一、中村小波先生古稀記念事業の件

別掲「古稀記念事業」欄参照

二、特別会員推薦の件(定款第六条第二号)特別会員推薦候補者

(1)成蹊学園旧職員(満十年以上在職した者)及び関係者のうちから理事会の議決をもつて推薦するもの、後藤松之助、清水護

鈴木一郎、原田富士子、栗山重、五名

(2)現職員中満十年以上在職するものの中から理事会の議決をもつて推薦するもの

赤堀秀利(小学)伊藤隆吉(大学)、石

川進(大学)、神谷正男(高校)、川合

日時・六月十六日(土)午後六時三十分より

十分より

会場・警友会館(仙台市外記丁)

東北支部会



仙台警友会館(三一・六・十六開催)

出席者・谷岡理事、千葉支部長、三井

副支部長、谷井潔、松本良祐、

三浦幹男、齋藤安俊、飛田良文

友次郎(高校)国分勇雄(中学)、佐々木金之助(小学)、寺尾信治(医局)、庭野貞治(中学事務)、橋本武雄(会計事務)土方敏夫(中学)、保谷秀雄(会計事務)松尾登(大学) 十三名

右件を常務理事から説明があり、異議の有無を諮つたところ、全員異議なく原案を承認した。

(学園近況35頁より続く)

○夏の学校

一年 七月十八日―七月二十一日

二年 七月十八日―七月二十一日

神奈川県足柄下郡仙石原冠峰楼

三年 七月十六日―七月二十日 箱根成蹊寮

四年 七月十五日―七月二十日 館山

五年 七月二十日―七月廿五日 箱根成蹊寮

六年 七月二十日―七月廿五日 館山

住所・勤務先等変更の場合は御通知願います。

青山孝郎

関西、北海道両支部設立に当つて敏腕をふるわれた松本氏が、今回の大会に当つて、早速会場その他一切の手配を引き受けて下さいました。一同益をかわし、食事を共にしつゝ、谷岡氏の成蹊会会務報告、学園近況報告等を拝聴しましたが、席上谷岡氏からの御提唱もあつて、今後仙台支部を東北支部と改め、東北六県在住の会員を以て構成することに致しました。なお、当夜、支部長には病癒えられた長老格の千葉画伯に、副支部長には最近ますます研究に張り切つておられる三井教授に、夫々御留任頂く外新役員を後記の如く決定致しました。

支部では現在、最近発行の名簿をもとにして支部会員名簿を作っておりますが今後東北六県内へ転入される方、及び六県より他県へ転出される方は支部宛通告して下さいようお願い致します。

最後に会員各位の御指導、御支援をお願いして近況報告を終ります。

(齋藤安俊記)

東北支部所在地

仙台市片平丁東北大学工学部応用理

学教室 三井生喜雄気付

東北支部便り

成蹊会仙台支部も昭和二十六年十月発足以来茲に五年目を迎えました。発足当時は、支部会員の大半は東北大学の学生によつて占められておりましたが、新制への移行につれて、旧制高校時代に比して入学者が減少し、二十八年三月旧制大学最後の卒業生を送り出してから急にさびしくなり、其の後はコシバもとぎれとぎれ、それも出席者数名といったこともあつて意気上りませんでした。しかるに近年、東京大学より東北大学理学部に來られた田中信行教授(高12)をはじめ、

日本興業銀行仙台支店の公森仁郎氏(高14)、東北管区警察局の松本良祐氏(高8)など新たに仙台に勤務されるようになった会員や、東北大学に学ぶ会員も次第に増加の傾向を辿り、昨年十一月には久し振りに盛大なスキ焼コンバを開催することが出来ました。

今年六月には北海道支部大会御出席の帰途立ち寄られた本部の谷岡氏をお迎えして、次の如く仙台支部大会を開催しました。